

解答

問四	問三	問二	問一
(1) (1) (1) (1)			
なさる	目	た	誓
	(2)	〔らす〕	〔う〕
(2) 鼻			(2)
うかがい	(2)	(3)	縦断
耳	ほ	が	
	(3)	(4)	
(3) (4) ごらん	足	〔らかな〕	宇宙
	(5)	(3)	
(4) 歯	〔いど〕	(4)	専門
はいきん	(5)	(4)	
	(5)	(4)	憲法
(5)	ぞんじあげ	じゅりつ	
			(5)
		じゅんぱく	

三

問二 血の気の失せた顔

問四 背筋

問六　自分と一緒にではれ

問八十

問十 問九

問十一

問七 筆者は「考える頭（＝思考）よりも機械的な知識をありがたがる」のではなく、「その人だけの個性的な考え方（＝思考）」を持つことが大切だと主張しています。知識と思考の間では、「比例」ではなく「反比例」の関係が成り立つと考えることが適切です。

問六 「おらと一緒にいだら、いぐね」というキワの言葉から、自分と一緒にいたれんによくないと考えていいことがうかがわれます。その一方で、「れんをしつかりと抱きしめている」という描写から、本当はれんのそばにいたいと思っていることがわかります。

三

解説

本當はにいたいという、持たぬにやぐないと思つたが、

えることが適切です。

たら、いぐね」というキワの言葉から、自分と一緒にいたら

いる」とがわかります。